

まちかどニュース

身近なイベントや、まちかど話題を皆さんから募集しています。

「平成28年度納税表彰式」で市内から4人の方が表彰

11月17日、ルネこだいら（小平市美園町一丁目）で、東村山税務署管内（清瀬市・小平市・東久留米市・東村山市・西東京市）の皆さんを表彰する「平成28年度納税表彰式」（東村山税務署主催）が開催されました。



左から坂田教育長、麻生眞一郎さん、恩田健次郎さん、渋谷市長、林田哲弥さん、細山茂美さん

清瀬市からは、麻生眞一郎さん・恩田健次郎さん（いずれも税務署長表彰）、林田哲弥さん・細山茂美さん（いずれも税務署長感謝状）が受賞されました。おめでとうございます。

市無形文化財「下宿囃子」を迎え、清瀬の昔話の朗読会「みんなでつくる朗読劇」開催

10月8日、清瀬けやきホールで「こわしみず」や「一文坂」など清瀬の昔話を朗読する市民参加型の企画「みんなでつくる朗読劇」が開催されました。



「下宿囃子」とコラボレーションをした「みんなでつくる朗読劇」

市内外の方が参加し、5月から月2回のレッスンを行ってきた今回の朗読会では、特別ゲストとして市無形文化財「下宿囃子」の皆さんも参加し、大いに盛り上がりしました。

～年末年始の読書に～

図書館特別展示コーナー

図書館では、年末年始の特別展示として、各図書館でテーマに沿った図書を新たに収集し展示いたします。年末年始の読書に、ぜひご利用ください。問合せ 中央図書館 ☎493・4326



各図書館のテーマと内容

中央	世界の「今」が本から見える 世界的経済不況、イギリスのEU離脱、貧困格差、ヨーロッパや中東でのテロ事件など、今世界各地でさまざまなことが起きています。そんな世界の「今」が本から見えてきます。
元町こども	ふしぎ! なぞとき クイズやなぞなぞ、難問を解決する名探偵たち。自然界のふしぎな現象や錯視など、あら、ふしぎ! と思うものをたくさん集めました。
下宿	あなたはどちら派 犬派と猫派、和食派と洋食派、インドア派とアウトドア派などなど、人にはそれぞれ好みやこだわりがあります。あなたはどちら派ですか。
野塩	長い夜はアートに親しむ ゴッホ、レンブラント、モネ、etc. お正月の長いお休みに、ちょっと分厚い画集などを広げて、巨匠の世界をじっくり味わってください。
竹丘	新しい発見、発明、そして発想・・・ 次々と発表される技術や考え方、初めて聞く単語や言葉、興味を引く研究など、今と将来に役立つ新しい情報を紹介します。
駅前	地域ができること、地域でできること 地域活性化、地産地消、地域ボランティア。いろいろな地域の取り組みの紹介や、活動の参考になる本を読んで、身近なこと、できそうなことから始めてみませんか。

清瀬市立図書館 年末年始の開館時間

日程	館名	中央	元町こども	下宿	野塩	竹丘	駅前
12月27日(火)							午前10時～午後8時
12月28日(水)							午前10時～午後6時
12月29日(木)～ 平成29年1月4日(水)		休館日					
平成29年1月5日(木)		午前10時～ 午後7時	午前10時～ 午後5時	午前10時～ 午後5時	午前10時～ 午後7時	午前10時～ 午後7時	午前10時～午後8時

3本の木とともに

来年は酉年、ご縁をいただいている「トリ」は白鷺です。今から26年前のことです。幼稚園での子どもの友達とトラブルが、父親同士の大きな対立を生み出してしまい、園長室で父親達との話し合いの場を設けました。

午後6時でしたが「どうしたらいいのかわからない」という状態のなか、私は当時大好きだった池上本門寺のお坊さん、中島教之さんの墨詩集の「前向きに生きる人には天と大地が味方する」を見つめて心を落ち着かせていました。

そこに午後4時ごろ突然、親友の蕎麦屋甚五郎の喜久さんから電話が入りました。「渋谷さん、今時間取れるかな?」「ええ、30分くらいなら。そして、もうひとつのご縁は、極めて畏れ多いことですが、「後鳥羽上皇」です。

喜久さんが大きな風呂敷包みを下げて幼稚園にきました。「渋谷さんに前々から陶芸家の飯能焼きをプレゼントしたいと思っていて、1か月くらい前に届いていたけれど、今持っていると思うって持ってきたよ。渋谷さんは子ども達の夢や希望を育てる仕事をしている。だから、心にしみこむ夢を訴えていってほしいし、渋谷さん自身にも人の心にしみこむ成長、飛躍を促してあげたい。だから、鷹や鷺の飛び方ではなく、白鷺が舞うが如く飛躍を促してほしい」と思い、焼いてもらったと、白鷺を描いた大きな壺を取り出しました。天と大地が味方してくれ、対立は回避できました。以来、白鷺の壺は卒園式の壇上から子ども達を見守っています。

清瀬市長
渋谷金太郎

がんばりすと

各種大会で優秀な成績を収めた方・団体を紹介します。

第35回清瀬市少年・少女サッカー大会の結果

11月13日・20日清瀬内山運動公園サッカー場で、計22チーム・221人が参加し、第35回清瀬市少年・少女サッカー大会が開催されました。各部門の優勝・準優勝チームは下表のとおりです。

部門	優勝	準優勝
男子4・5年生の部	清小ブラックタイガー（清小）	ブラックホルズ（六小）
男子6年生の部	BUNAN（清明小）	ババ口出ししないで（清小）
女子の部	FC.Plaisir（清小・八小・十小・その他）	四小PPAP（四小）



【男子4・5年の部優勝】清小ブラックタイガー 【男子6年の部優勝】BUNAN 【女子の部優勝】FC.Plaisir

清瀬市農業まつり「農畜産物品評会」入賞者

11月19日・20日に、コミュニティプラザひまわりで「清瀬市農業まつり」が開催され、19日に行われた「農畜産物品評会」では、449点の農産物の出品があり、審査の結果、次の皆さんが特別賞を受賞されました（敬称略）。表彰式は12月13日に執り行われました。おめでとうございます。

◆特別賞◆ 枝垂れモミジ＝松村俊夫（中里）、ほうれん草＝小寺良治（下清戸）、台湾ツバキ＝松村勇希（中里）、里芋＝山本宏美（下宿）、キャベツ＝松村忠生（中里）、ねぎ＝村野幸子（上清戸）、きゅうり＝松村美由紀（中里）、大根＝石井龍之介（下清戸）、ブルーベリー＝松村マツ（中里）、小松菜＝村野明子（上清戸）、ゆず＝村野伊都子（中里）、ばれいしょ＝松村幸一（中里）、かぶ＝小寺麻里子（下清戸）、ごぼう＝小島茂（旭が丘）、柿＝関直之（中清戸）、キャベツ＝村野健一（上清戸）、甘夏みかん＝松村新太郎（中里）、ストック八重＝坂間忠（下宿）、ブロッコリー＝村野彰紀（上清戸）、ほうれん草＝清水恵子（旭が丘）

東京都農業祭「農産物品評会」入賞者

11月2日・3日、明治神宮宝物殿前で開催された東京都農業祭「農産物品評会」に清瀬市から33点が出品され、審査の結果、次の皆さんが特別賞を受賞されました（敬称略）。おめでとうございます。

◆特別賞◆ かぶ＝小寺正明（下清戸）、水菜・ほうれん草＝小寺浩子（下清戸）、柿＝関武司（中清戸）

問合せ いずれも産業振興課産業振興係 ☎497・2052

清瀬 ことば俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひ応募ください。選評＝石田波郷俳句大会実行委員会

●お手つだいしたあとまつりくじ当たる 八小四年 伊與田翔和
（評）この句の季語は「まつり」で、夏の季語。祭は一年中あるのに、とても仕方がない。夏祭の、あの勢いのある感じが日本人に愛されてきたのだらう。町の最大のイベント「祭」で神様に感謝する。そしていいことをすれば、神様はちゃんと見てくれる。楽しく、ハッピーな一句。

●運動会耳のうしろをつたう汗 清明小五年 平松希風
（評）この句の季語は「運動会」。最近五月や六月に行っている学校もあるが、秋の季語とされている。運動会は明治以降の学校教育のなかで始められたことで、長く秋の中心な学校行事となってきた。徒競走など、教室の勉強とは違う緊張感。苦手な子もいれば得意な子もいる。耳のうしろ、という表現に作者の独自性がある。

●ゆかたきるあさがおがらのこんいろの 三小五年 山本花
（評）この句の季語は「ゆかた」でももちろん夏の季語。「あさがお」は？となりそうだが、絵や着物の柄などは季語にはならない。浴衣を着たときの肌触り、軽い感覚は夏の季節感にストレートにつながるが、そのうえ作者はこの柄と色地の色が大好きなんだね。そのことが倒置法の表現で強調されて、よく伝わった。

※今回の俳句は、第8回石田波郷俳句大会ジュニアの部の入選作から。